ろばと野草

VOL.106

「なつき」ichji（ろばの家）

106号　目次

- 特集　訪問取材「百合の樹」
- 事業所紹介　はだしの邑通信　ろばの家だより
  百合の樹通信　グループホームより
- 法人事業紹介　法人設立２０周年記念映画上映会、法人研修、合同追悼式
- それぞれの声
- 「夢を追いかけて」　理事長　瀬戸英治
- ありがとうございました

特定非営利活動法人　ろばと野草の会　　２０２６年7月１日発行

訪問取材　～　百合の樹　編　～

令和８年４月９日（木）　Nさん、Yさん、津田

　編集委員になり、初めて百合の樹を訪問しました。

　百合の樹の作業や様子をわかりやすくお伝えできると嬉しいです。

【１日の流れ】

１０：００　開所

１０：３０　ミーティング

１０：４５　作業、昼食の準備

１２：００　昼食・昼休み

１３：００　作業

１５：３０　作業終了

１８：００　閉所

　百合の樹といえば印刷の機械です。

　たくさん紙を切って揃えています。

昼食をみなさんと一緒にいただきました

他にも、この日は手紙の封入作業しました。

横浜市内に配る手紙をみんなで手分けして折って、封入しています。

折った後は、牛乳瓶の底でしっかり折り目をつけます。

力の加減が絶妙にかかり、折り目が均等につきます。

ベランダのスペースを利用してのガーデニング

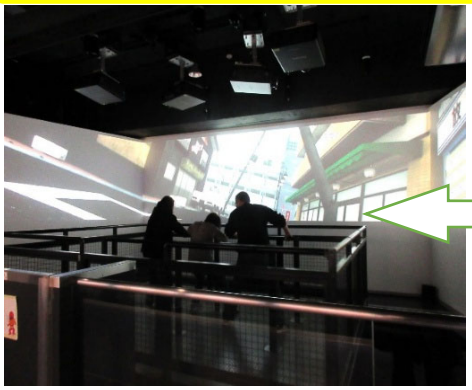
管理者岩崎さんとの懇談

一日取材させていただきありがとうございました！

はだしの邑通信

〒231-0843
横浜市中区本郷町1-2　小倉ビル2階
TEL/FAX：045-625-2509
MAIL：hadashi85@yahoo.co.jp

３月１２日　防災訓練（防災センターにて）



地震シュミレーター震度７を体験中

４月３日　アイススケートレクリエーション

徐々に滑れるようになって楽しかった。A

新しいスタッフの紹介

非常勤職員

こうの　えり
河野　恵里さん

絵：　ににに

河野と申します。この度ご縁をいただきまして入職する事となりました。皆様のお力になれますように尽力いたしますのでご指導よろしくお願いいたします。

ろはの家だより

231-0025
横浜市中区松影町3-11-2三和物産ビル3F
Tel/Fax　045－671－9083
e-mail:robanoie@muh.biglobe.ne.jp

★新入職員ご紹介★
4月16日に松島奈緒さん（非常勤職員）入職。5月1日に、はだしの邑から萩原淳文さん（常勤職員）が異動してきました！新体制のろばの家をよろしくお願いいたします。

まつしま　なお
松島　奈緒さん

はぎわら　あつふみ
萩原　淳文さん

☆松島さん＆萩原さんにインタビュー☆

Q:将来の夢は？

松島:大きな神社におふだを授(さず)かりにいく。

萩原:体が動く限りはたらきたい。

Q:これからろばの家で作ってみたい菓子orパン

松島:カレーパン、デコパン、おはぎを作りたい。
和菓子屋でアルバイトしていました。

萩原:パンチのきいたガッツリ系を作ってみたい。お菓子はまだ覚えてないし種類も多いのでこれからです。

Q:ろばの家での失敗したできごと

松島:初出勤日に4階に上がってしまったこと。

萩原:パンのトッピングを忘れて焼いてしまったこと。

（絵:T･T）

百合の樹通信

〒231-0033
横浜市中区長者町 4-10-1　パルム長者町 201
TEL：045-211-4081　FAX：045-211-9030
E-mail：yurinoki@ray.ocn.ne.jp

感謝をこめて

磯　優二郎

３０年前、右も左もわからないまま、この障害福祉の世界に入りました。今こうして振り返ってみると、自分よりもずっと人生経験のある利用者の皆さんの話に、果たして自分が十分に向き合っていけるのだろうかと、正直、不安ばかりだった当時のことを昨日のことのように思い出します。

それからの３０年、本当にいろいろなことがありました。障害福祉を取り巻く制度も社会の状況も大きく変わりましたし、現場でも楽しいこと、苦しいこと、うれしいこと、悲しいことと、たくさんの経験をさせていただきました。でも、そうした一つひとつを乗り越えてこられたのは、利用者の皆さん、そして先輩や同僚、関係者の皆さんに支えていただいたおかげです。こうして無事に定年を迎えることができたことを、今は本当にありがたく思っています。

これからは、少しゆっくりした時間を過ごしながら、これまで出会ってきたたくさんの方とのご縁や、この仕事を通して学ばせてもらったことを大事にしていきたいと思っています。職員としての現場は離れることにはなりますが、これからは理事として、微力ながら「ろばと野草の会」のお役に立てればと思っています。そして、これからこの職場を支えていかれる皆さんには、利用者の皆さんに寄り添う気持ちを何より大切にしながら、それぞれの持ち味を生かして支援を続けていってほしいと願っています。

長い間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

〇磯優二郎さんは、２０２６年３月に定年退職されました。

グループホームだより

こもれび

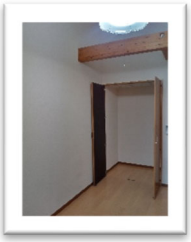
お住いの 70 代、80 代の方たち、今日も作業所へ出発！
大切な居場所、大切なお仕事に向かうその姿を見て、逆にパワーをいただいています。

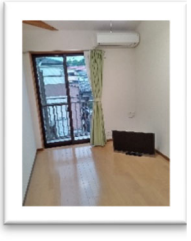
GH 見晴

18 年間住んでくださった方が退居、 お仲間が居なくなり寂しいです。
次の住まいのスタートに幸あれと皆で願っています。
お部屋は 6 月から修繕工事が入り、7 月に新入居者さんが来られる予定です。

ベイサイド西之谷

日当たりの良い 2 階のお部屋が空いています。
どなたか、入居の検討なさってみませんか？
気になりましたらお問合せくださいね。





ろばと野草の会　法人事業紹介

特定非営利活動法人ろばと野草の会　法人設立 20 周年記念事業
映画上映会　「どうすればよかったか？」　を開催

2026 年 3 月 14 日（土）午後、かながわ労働プラザの多目的ホールで、法人設立 20 周年記念事業 映画上映会を開催しました。

ろばと野草の会が生まれた発端は、1984 年に「市民グループ野草の会」が、1988 年に「市民グループろばの会」が生まれ、1995 年にはその 2 つのグループが一つになり、「精神保健福祉を考える市民グループ ろばと野草の会」となったことです。

2005 年にはこの市民グループが特定非営利活動法人となり、昨年度 20 周年を迎えました。この間、会員や関係団体・関係の皆様に多大なご支援をいただいてきており、皆様への感謝の念を表してこの映画上映会を催しました。

最初に瀬戸理事長からの挨拶があり、これまでの法人の歩みと関係の皆さんへの感謝の念を述べ、映画上映に移りました。

映画「どうすればよかったか？」は、監督がご自身の家族を記録したドキュメンタリー映画であり、総勢 108 名が鑑賞。皆さん、さまざまな感想を持たれたようです。

フォワイエでは、当法人の就労継続支援 B 型事業所である「ろばの家」のパンやお菓子が販売され、完売するなど盛況でした。

2025 年度法人全体研修を実施しました！

2026 年 2 月 14 日（土）午後、寿町健康福祉交流センターにおいて、当法人の全体研修が開催されました。

第 1 部では高齢化プロジェクトのメンバーが中心となり「高齢者疑似体験と車椅子体験」を行いました。

第 2 部では、瀬戸理事長の講話で「支援者は教師や指導者になってはいけない」という言葉が印象的でした。

講演では、職員からの要望の多かった「発達障がいの理解と支援方法」について、横浜市発達障害者支援センターの目黒綾香さんと雨宮幸司さんからお話がありました。発達障害のある方からの相談だけでなく、家族や支援者からの相談にものってくれることが分かり、とても「心強い」支援機関だと感じました。

合同追悼式を開催しました！

2025 年 3 月 14 日（金）午後、合同追悼式を開催しました。

場所は真言宗徳恩寺（横浜市緑区恩田町）の「青葉霊園」にある「千秋の丘」です。マイクロバスで現地に向かい、14 名が参加しました。

「千秋の丘」は、寿町の関係者が徳恩寺前住職のご厚意を得て、身寄りのない寿に住む人々のために設立した共同墓地です。当法人では、「千秋の丘」に、利用者（会員）の中で希望される方を埋葬・永代供養するとともに、お亡くなりになった利用者の方々についても、年に 1 度、合同追悼式でご供養しています。

墓地を保障することは、精神障がい者が地域で暮らしていくためのサポートの一つとなっています。

～それぞれの声～

それぞれの声は利用者の方々の自由な投稿の場です

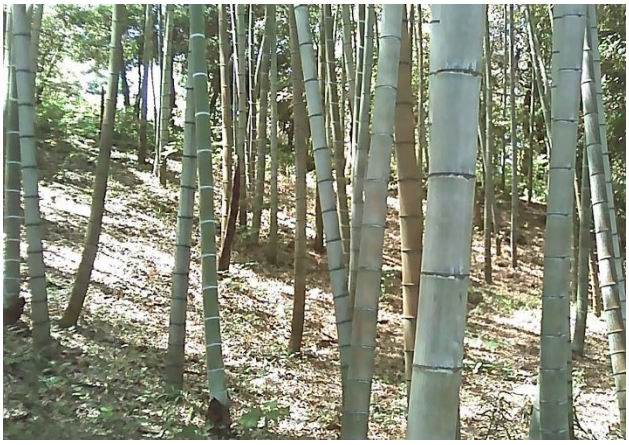
N さん(ろばの家)

F さん(ろばの家 OB)

K さん(百合の樹)

「青空にモノレール」F さん(百合の樹)

「うちの庭に咲いたバラ」 サ+史(はだしの邑)



「初夏の竹林」にに(はだしの邑)

夢を追いかけて

前理事長　瀬戸英治

はるか昔の話。大学受験の時、高校の担任との面談で希望の大学の名前を告げたところ、「お前は誇大妄想狂か」と呆れられたことがある。あまりにも自分の実力以上の学校だったからだ。1996 年に社会福祉法人の立ち上げに伴い、法人に統合できなかった 2 つの作業所の運営をするための市民団体「ろばと野草の会」の代表を引き受けてから、この 30 年間、多くの夢を語ってきた。振り返って、多くのことはかなわない夢で終わった。私はやっぱり誇大妄想狂なのかもしれない。

でも一つもかなわなかったのではない。また形を変えて成就したものもある。とりもなおさず素人のボランティアから始まったこの会が、いまも続いていることは大きなことだと思っている。

米国の公民権運動（人種差別撤廃と人種間協和）のリーダーであったマルティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師は、1968 年 8 月 23 日のワシントン大行進において「I Have a Dream（私には夢がある）」という有名な演説を行った。その中でキング牧師は「私には夢がある。それは、いつの日か、ジョージア州の赤土の丘で、かつての奴隷の息子たちとかつての奴隷所有者の息子たちが、兄弟として同じテーブルにつくという夢である。米国の憲法に謳われている『人間はすべて平等に作られている』という信念を実現することができる。」と語った。

残念ながら、現在においても人種差別はなくなってはいない。それどころか今のトランプ政権によって、人種差別も、性差別も、障がい者差別も後退している感がある。しかし、それでもキング牧師の夢は、多くの人の夢となり励ましとなり、世界を動かし続けているのは事実である。

健常者も障がい者も等しく幸せになる暮らせる権利がある。どのようにそのようになるかはまったく分からないが、きっとそのようになる日が来ると信じている。ろばと野草の会の働きが、そのために役立っていると、私は夢見ている。

私はこの 6 月で会の代表を辞することになりました。これまでのお支えに心から感謝しています。またこれからもろばと野草の会を支えてくださることをお願いします。

最後に聖書の言葉を用いることを許してください。

「幻なき民は滅びる」（箴言 29 章 18）

これからも大いに幻でも夢でも、語って歩んでいただきたいと思います。

ありがとうございました。

（二〇二六年二月～二〇二六年五月）

会費

十人及び二団体の会員の皆様からいただきました。

寄付金

十五人及び四団体の皆様からいただきました。

事業所寄付金・献品

就労継続支援Ｂ型事業所
ろばの家
百合の樹
はだしの邑
に直接いただいております。

皆様からの会費・寄付金・献品は、法人及び各事業所の活動の一部に充てられております。
今後とも、皆様のご支援をお待ちしております。

編集後記

初めての編集委員で、すごく緊張しましたが、百合の樹で皆さんが優しく接してくれて、嬉しかったです。（ＮＹ）

ろばと野草　第一〇六号
【発　行】二〇二六年七月一日
【発行者】特定非営利活動法人
ろばと野草の会
理事長　金井信高
【編　集】葦原果戈里、笠間夕里
川﨑圭子、倉橋美樹
田口環、津田佐也加
永瀬雄基、湯田榮一
【題　字】佐々木和美
【発行所】ろばと野草の会事務局
〒二三一―〇〇二六
横浜市中区寿町三－十－十三
金岡ビル三〇一
ＴＥＬ　〇四五－二六四－八六〇七
ＦＡＸ　〇四五－二六四－八六〇八
【Ｅメールアドレス】
robatoyaso@galaxy.ocn.ne.jp
【ホームページ】
http://robatoyasou.com/
【印刷所】就労継続支援Ｂ型事業所
百合の樹